

## 環境センターのダイオキシン類測定結果

当センターは、昭和56年度に稼働を開始し、平成9年度から3か年計画で全設備を更新しました。更に、令和元年度から3か年計画で焼却設備の一部を更新し、周辺の環境保全に十分配慮しながら安定した操業を行っています。

ダイオキシン類測定結果に関する過去5年間の測定経過は下表のとおりです。

測定年度 及び月日		排ガス中 (ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> )		煤塵中 (ng-TEQ/g-dry)	焼却灰中 (ng-TEQ/g-dry)	測定炉
		測定値	国の基準	測定値	測定値	
H30年度	30. 8. 24	0.0022	1	0.20	0.012	1号
	31. 2. 1	0.0067	1	1.3	0.0057	2号
R元年度	1. 8. 19	0.0060	1	1.4	0.0081	1号
	1. 9. 20	0.0033	1	0.37	0.020	2号
R2年度	2. 7. 27	0.013	1	0.70	0.029	1号
	3. 2. 9	0.010	1	0.51	0.016	2号
R3年度	3. 7. 26	0.023	1	0.38	0.034	2号
	4. 3. 17	0.015	1	0.48	0.0012	1号
R4年度	4. 7. 25	0.019	1	0.15	0.0038	1号
	5. 2. 6	0.0099	1	0.17	0.0071	2号

※基準値＝ダイオキシン類対策特別措置法に基づく国の基準値

●ng(ナノグラム)＝10億分の1g

●TEQ＝ダイオキシン類はそれぞれ毒性が異なるため、その中で最も毒性の強い2,3,7,8四塩化ダイオキシンに換算した合計量

●m<sup>3</sup>N(ノルマル立方メートル)＝0℃,1気圧に換算した状態をNで表現した時の気体の体積

●g-dry＝乾燥重量1g